

町田市議会議員 無所属会派

議会レポート 2026.7月号

はせがわ

圭亮

長谷川
けいすけ
NEWS Vol.11

お手にとつていただきありがとうございます。

市政報告会 開催のご案内

町田市議会議員・はせがわ圭亮の市政報告会を開催させていただきます。町田市外からのご参加も大歓迎です。ぜひ皆さまの声をおきかせください。お申込みは↓↓こちら↓↓

- 1.【鶴川】7/29(水)19:00-20:00
@鶴川市民センター第1会議室
- 2.【鶴川】8/2(日)10:00-11:00
@和光大学ポプリホール鶴川会議室
▶お申込み <https://x.gd/YnIRw>



29才

町田市政全般に関して、議員から自由に質問や提言ができる「一般質問」という機会があります。地域の皆様から託されたお声を市政に届け、よりよい町田の未来を築きたい願いをこめて、6月は

- ①福祉政策
- ②鶴川駅の急行停車
- ③若者支援(家賃)
- ④農業政策

の4つのテーマをもとに質問・提言させていただきました。今回は、その要約をご報告いたします。

01 福祉政策



Q

はせがわ

福祉政策は、市民一人ひとりの暮らしや人生に最も関わる分野です。歴代市長による福祉政策の特徴と成果をどのように総括し、今後どのように継承していくのか伺います。

A

回答

歴代市長の尽力により、それぞれの時代に必要な取組を先導的に行い、市民福祉の増進に寄与してきました。今後もその基盤を受け継ぎ、地域で支えあう福祉を発展させていきます。



はせがわ
提言

これまでの蓄積は重要ですが、少子高齢化や孤立など新たな課題に対応する必要があります。継承にとどまらず、現代の課題に即した福祉政策の展開を求めます。

はせがわ圭亮(けいすけ) プロフィール

1997(平成9)年2月28日生まれ
真光寺3丁目在住
けいしょう幼稚園・鶴川第四小学校 出身
日本大学文理学部社会学科 卒業
日本大学大学院文学研究科
社会学専攻社会学コース 中途退学
衆議院議員秘書・参議院議員公設秘書等を経て、
2026年2月町田市議会議員選挙
2400票のご支持を賜り、初当選(今期最年少)
社会調査士・防災士 上級救命技能認定
真光寺3丁目町内会 副会長
中学軟式野球チーム
「多摩スーパースターズ」球団代表
一般社団法人町田青年会議所
町田市倫理法人会 町田法人会
町田ろうなん協会
町田交通安全協会鶴川第1支部
町田市消防団第三分団第六部 班長
町田市赤十字奉仕団 NPO法人町田演劇鑑賞会
日本大学町田桜門会 他地域諸団体に所属
趣味:街歩き・サッカー観戦(FC町田ゼルビアファン)・映画鑑賞・乗り物乗車(電車、バス、飛行機)



01 福祉政策（続き）



A

回答

2023年度に着手しましたが、運営法人の同意が得られず、その後は計画策定作業を進めていません。検討会設置に向けて保護者や運営法人に対する説明会を継続実施しています。



はせがわ
提言

リス園は障がい者福祉の理念を体現する重要な施設です。NPO法人町田リス園や利用者の保護者の意見を聞きながら進めていく必要があります。指定管理者制度導入に対しては懸念も抱えています。

Q

はせがわ

福祉政策の理念を体現する町田リス園基本計画の現在の進捗状況について伺います。

02

鶴川駅の急行停車



Q

はせがわ

鶴川駅は1日平均乗降人員60,371人で、急行通過駅の中で最も多い利用者数となっています。長年、急行停車を求める声が地域から上がってきました。市として鉄道事業者にどのような要望をしてきたのか、また南町田グランベリーパーク駅の急行停車化における市の役割を伺います。

A

回答

市は、急行停車を含めた市民からの様々な要望を鉄道事業者に伝えてきました。南町田では、事業者と意見交換を行ってきました。

Q

はせがわ

鶴川駅周辺では再整備事業が進められています。急行停車を求める声に対する市の見解を伺います。

A

回答

急行停車は、駅間距離やダイヤ編成等を踏まえ鉄道事業者が判断します。現時点で停車の計画はありません。



提言

鉄道事業者の判断である現状は示されましたが、鶴川駅は重要な拠点です。再整備とあわせ、急行停車の実現に向けた働きかけの継続が必要です。

03

若者支援(家賃支援)

Q

はせがわ

近年、物価高騰が続く中、とりわけ若年層を取り巻く生活環境は厳しさを増しています。特に家賃は毎月必ず発生する固定費であり、若者の生活に大きな影響を与えています。そこで、市内の民間賃貸住宅に居住する世帯の現状と、家賃の上昇状況について伺います。

A

回答

市内の民間賃貸住宅に居住する世帯数は49,784世帯となっています。また、20代・30代の単身世帯も一定数存在しています。家賃については市独自の統計はありませんが、近隣自治体の調査では2020年から2025年にかけて約9%上昇している状況です。



はせがわ
提言

若者の生活において、家賃が大きな負担となっている現状が示されました。家賃は食費や光熱費と異なり、削減が難しい固定費であり、その負担の重さは決して小さくありません。若者の自立や定住を後押しする観点からも、住宅支援の重要性は今後さらに高まっていくと考えます。今後も、若者が安心して住み続けられる環境づくりに向け、住宅支援策の検討を求めてまいります。

04

農業政策



Q

はせがわ

第4次農業振興計画の最終年度を迎えるとともに、第5次計画の策定が進められています。第4次計画の進捗状況と評価、またその成果や課題をどのように次期計画へ活かしていくのか伺います。あわせて、都市農業の魅力発信の取組である「まちだベジハブ」の現状について伺います。

A

回答

第4次計画では各種施策に取り組んできましたが、農業者数や農地の減少傾向は続いています。また、基本目標と施策のつながりが不十分であった点が課題として認識されています。第5次計画では「地産地消の推進」を基本理念とし、生産・消費・農地保全の連動を図る計画として検討を進めています。「まちだベジハブ」については、市民と農をつなぐ取組として展開しています。



はせがわ
提言

農業を取り巻く環境は、担い手不足や農地減少など大きな変化の中にあります。今回の答弁により、計画の課題が市としても明確に認識されていることが確認できました。今後は、単なる計画策定にとどまらず、実際に効果を生み出す施策の実行が重要です。地産地消の推進とあわせて、市民と農をつなぐ取組をさらに発展させることで、町田の農業を持続可能な形で次世代へつなげていく必要があります。引き続き、実効性ある農業政策の推進を求めてまいります。

